



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラン経済 (3月4日~14日)

1. 製造支援・市場規制特別委員会の開催 (6日付ドンヤーイエ・エグテサード紙)

製造業の厳しい状況と、基礎物資の物価上昇を受けて、アフマディーネジャード大統領は鋳工業・商業省内で、製造支援・市場規制特別委員会会議を開催した。ガザンファリー鋳工業・商業省大臣は会議の内容について「自動車メーカーに対する包括的金融支援が、当会議で最も重要な決定事項である」と述べた。

2. 国民の購買力の低下 (4日付シャルグ紙)

国民の購買力は、この8年間に72%低下している。8年前のヒジュラ太陽暦(イラン暦)1383年(2004年3月20日~2005年3月20日)の為替相場は1米ドル=8,740リヤールであったが、1391年(2012年3月20日~2013年3月20日)初冬(2012年12月)には1米ドル=32,000リヤールにまで、米ドルが上昇した。それに伴い、1,000万リヤールの価値は、1383年には1,144米ドル程あったものの、1391年には313米ドルにまで縮小している。現在、来年の最低賃金上昇率は20%に設定されているが、労働者らは更なる苦境に立たされることになろう。

3. 一般家庭における支出の増加 (6日付ドンヤーイエ・エグテサード紙)

ヒジュラ太陽暦(イラン暦)1390年(2011年3月21日~2012年3月19日)の国内一般家庭における支出の増加率は収入の増加率を上回る事が、イラン中央銀行の資料で明らかになった。これによると、家計における収入は22.2%増(年間1億6,720万リヤール)であり、支出は22.8%増(年間1億7,393万リヤール)である。

4. 購買力低下に関する第一副大統領の発言 (7日付ジョムフーリーイエ・エスラーミー紙)

ラヒーミー第一副大統領は、取引業者や組合に関して、「国民の購買力は半分にまで減少しており、供給者側は、特にノウルーズにかけて公正な取引を行うべきである。イランには300万の取引業者と8,400もの組合が存在する。市場は補助金合理化の影響を受けているため、我々は取引業者に、国民に配慮した行動を期待したい」と述べた。

5. 自動車の売買市場の冷え込み (9日付ドンヤーイエ・エグテサード紙)

最近、自動車の売買市場が例年になく冷え込んでいる。数種類のモデルの供給が増加した

にもかかわらず、ヒジュラ太陽暦（イラン暦）における年末の需要期でも、需要が増加しない事態となった。消費者は、より安くなることを期待し購入を控えている模様だ。ここ数日間だけでも、自動車価格は500万～2,000万リヤール程度下落した。

6. 自動車価格に関する最高競争評議会議長発言（14日付シャルグ紙）

最高競争評議会議長は「消費者・生産者支援機構は、イラン産自動車の価格決定権を失った。自動車への価格決定に関する同機構のいかなる行動も違法と見なされる」と述べ、最高競争評議会のみが自動車の価格決定権を有すると主張した。

7. デノミネーションの延期（14日付ケイハーン紙）

ホセイニー経済財務大臣は、イラン・リヤール通貨から桁を削るデノミネーションを延期すると発表し、「デノミネーションは既に、政府の経済評議会で検証済みであるが、両替市場の激しい変動を考慮し、結論を先送りする」と述べた。